

<背景>

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、国内外から観光客等が集まり、交通混雑が予想される。テレワークは混雑回避の切り札。

※ ロンドン大会では、企業の約8割がテレワークや休暇取得などの対応を行い、市内の混雑を解消

<テレワーク・デイ>

2017年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会開会式が行われる**7月24日**を「**テレワーク・デイ**」と設定。2020年までの毎年、企業等による全国一斉のテレワークを実施。

<期待効果>

① 大会期間中のテレワーク活用により、**交通混雑を緩和**

【2020年大会時見通し】鉄道：観客利用と道路からの転換により、利用者が約1割増加

【TDMの目標】鉄道：現在と同程度のサービスレベルを目指す

TDM・・・Transportation Demand Management

② 企業等がテレワークに取り組む機会を創出

→ **全国的に「テレワーク」という働き方が定着**

<Legacy>

東京オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに、日本社会に働き方改革の定着を！



北海道から沖縄まで、情報通信のほか、製造、保険など幅広い業種の企業、自治体等が参加。

【参加数】 **約950団体、6.3万人 1682団体、30.2万人**

[主 催] 総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府
[共 催] 東京都、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所、一般社団法人日本テレワーク協会

テレワーク・デイズ2019 参加団体結果等

2,887団体、約68万人 (678,400人) が参加

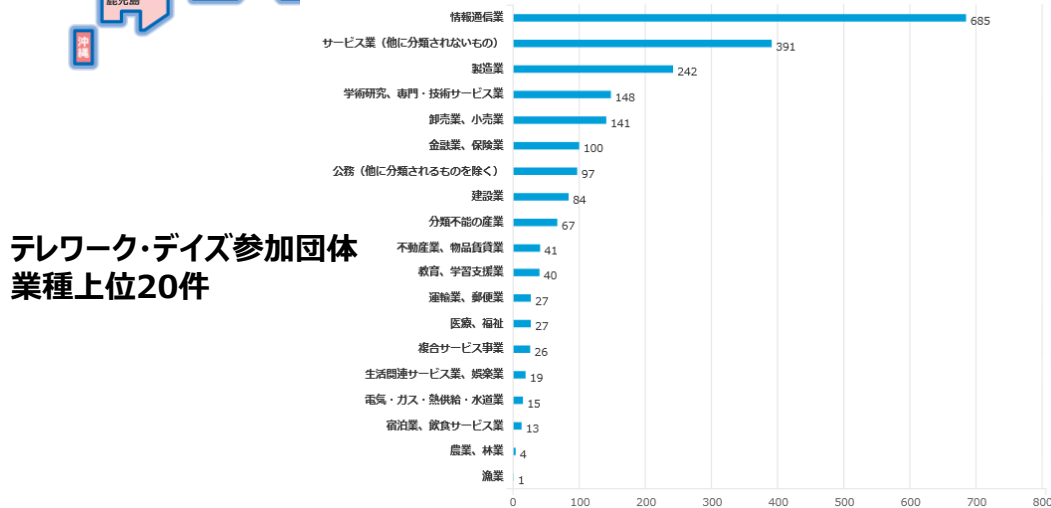
実施予定エリア件数凡例

0	75~99
1~9	100~124
10~19	125~149
20~29	150~174
30~39	175~199
40~49	200~499
50~74	500~

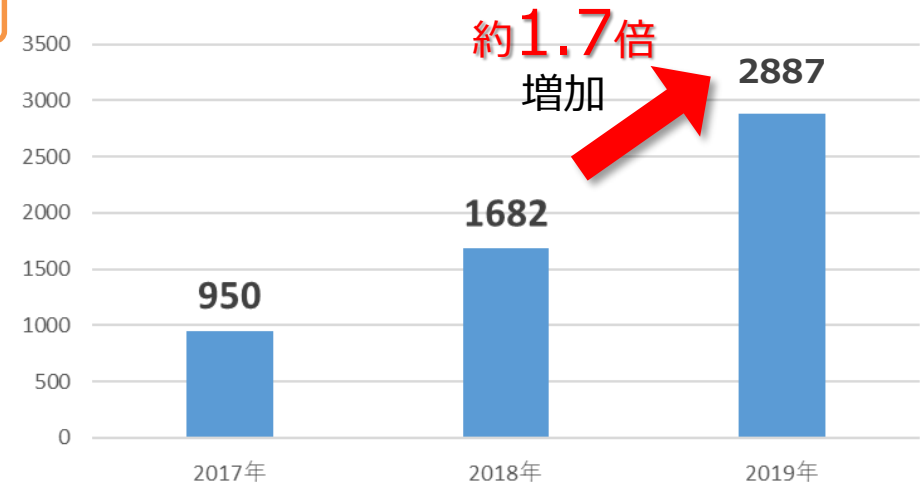
全件表示

リセット

テレワーク・デイズ参加団体
実施予定エリア

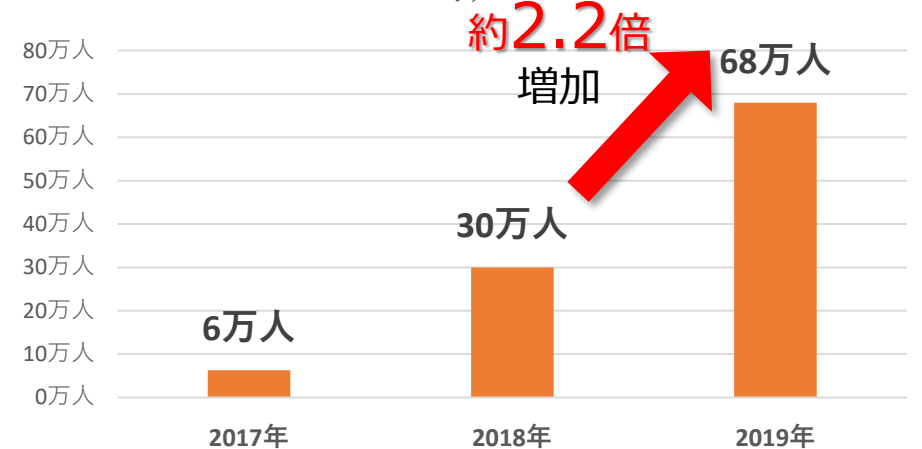


テレワーク・デイズ参加団体の推移（2017年～2019年）



*2019年9月6日集計時

テレワーク・デイズ参加人数の推移（2017年～2019年）



*2019年9月6日集計時

テレワーク・デイズ2019 ①集中実施日の分析結果（7月24日分）

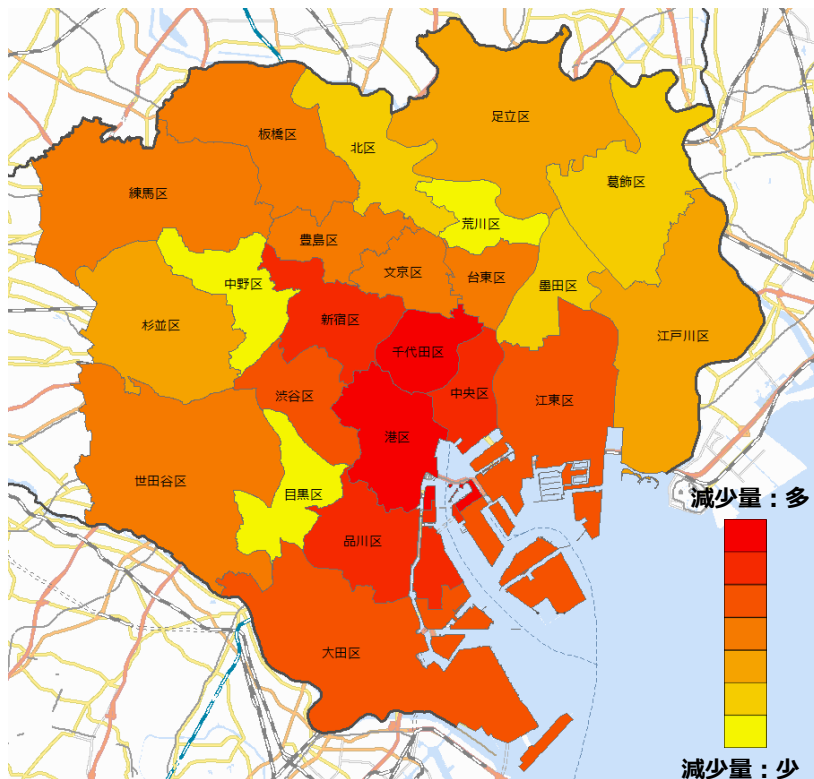
モバイルビッグデータ分析(携帯電話利用者の位置情報等の活用)により、東京23区内に勤務地がある通勤者数を比較（※同年同月同曜日の7月10日との比較）したところ、

テレワーク・デイズ2019集中実施日（7月24日（水））にて

23区内で約25万人 通勤者が減少 減少率は-8.9%

昨年を上回る減少量・率となっている（2018年は 減少量9.7万人、減少率-3.4%）

■ 勤務地別通勤者減少量（23区）



期間外	期間中
2,863,949	2,608,848

単位:人

減少量	減少率
-255,101	-8.9%

■ テレワーク・デイズ集中実施日（7/24）の前年との比較

	期間外	期間中	人口減	減少率
2018年（7/24）	2,802,593	2,705,920	-96,673	-3.4%
2019年（7/24）	2,863,949	2,608,848	-255,101	-8.9%

- ・通勤者：自宅から500m以上離れた勤務地（東京23区内）に訪れた20歳から64歳
- ・期間外：テレワーク・デイズ期間外(2019/7/10)の通勤者数
- ・期間中：テレワーク・デイズ期間中(2019/7/24)の通勤者数
- ・人口減：期間外から期間中への通勤者減少量
- ・減少率：期間外から期間中への通勤者減少率

テレワーク・デイズ2019 ②2018年との比較

テレワーク・デイズ2018年（2018/7/23～27）と同期間で比較したところ
**テレワーク・デイズ2019の1週目（2019/7/22～26）にて、23区内の通勤者数は、
 約124万人通勤者が減少（2018年は約41万人減）し、減少率は-8.5%（2018年は-2.9%）となる**

■2019/7/22～26の通勤者減少量 （東京23区）

単位:人

勤務地	期間外	期間中	減少量	減少率	減少率 （昨年）	減少率 差分
千代田区	1,817,024	1,673,888	-143,136	-7.9%	-1.7%	-6.2%
中央区	1,380,570	1,264,646	-115,924	-8.4%	-2.6%	-5.8%
港区	1,786,483	1,637,813	-148,670	-8.3%	-1.3%	-7.0%
新宿区	1,215,667	1,113,864	-101,803	-8.4%	-1.9%	-6.4%
文京区	398,190	354,971	-43,219	-10.9%	-6.3%	-4.6%
台東区	457,553	428,430	-29,123	-6.4%	-1.7%	-4.7%
墨田区	340,783	306,005	-34,778	-10.2%	-0.4%	-9.8%
江東区	914,165	850,727	-63,438	-6.9%	-2.5%	-4.4%
品川区	809,723	717,680	-92,043	-11.4%	-3.7%	-7.7%
目黒区	193,745	176,518	-17,227	-8.9%	0.7%	-9.6%
大田区	733,192	669,036	-64,156	-8.8%	-3.7%	-5.0%
世田谷区	489,559	439,015	-50,544	-10.3%	-4.9%	-5.4%
渋谷区	773,214	723,566	-49,648	-6.4%	-0.5%	-5.9%
中野区	282,121	261,559	-20,562	-7.3%	-5.5%	-1.8%
杉並区	274,494	244,461	-30,034	-10.9%	-5.0%	-6.0%
豊島区	528,188	489,125	-39,063	-7.4%	-6.4%	-1.0%
北区	259,668	229,383	-30,285	-11.7%	-0.3%	-11.4%
荒川区	133,913	119,697	-14,216	-10.6%	-2.4%	-8.3%
板橋区	382,726	353,207	-29,519	-7.7%	-5.6%	-2.1%
練馬区	391,729	354,437	-37,292	-9.5%	-2.8%	-6.7%
足立区	421,777	389,015	-32,762	-7.8%	-7.5%	-0.3%
葛飾区	252,054	230,962	-21,093	-8.4%	-5.8%	-2.5%
江戸川区	374,026	347,109	-26,918	-7.2%	-6.8%	-0.3%
東京23区合計	14,610,566	13,375,115	-1,235,451	-8.5%	-2.9%	-5.5%

■テレワーク・デイズ2018との減少量・率比較

	期間外	期間中	減少量	減少率
2018年 (7/23～27)	13,890,637	13,482,395	-408,242	-2.9%
2019年 (7/22～26)	14,610,566	13,375,115	-1,235,451	-8.5%

テレワーク・デイズ2019期間中の2018年期間中との比較

- ◆減少量: -408,242(2018年) → **-1,235,451人(2019年)**
- ◆減少率: -2.9%(2018年) → **-8.5%(2019年)**

- ・通勤者: 自宅から500m以上離れた勤務地(東京23区内)に訪れた20歳～64歳
- ・期間外: テレワーク・デイズ期間外(2019/7/1～7/5、7/8～7/12)の週間平均通勤者
- ・期間中: テレワーク・デイズ期間前半1週目(2019/7/22～26)の累計通勤者数
- ・減少量: 期間外から期間内への通勤者減少量(期間外から期間内への通勤者減少率)
- ・減少率(昨年): 2018年のテレワーク・デイズ調査時の減少率

テレワーク・デイズ2019 ③前半期間の効果分析

○テレワーク・デイズ2019期間（前半）の通勤者減少量トップ3の地点は 1位 新宿西口方面 2位 大崎 3位 神田橋

※テレワーク・デイズ2019前半期間中（2019/7/22～26、7/29～8/2）とテレワーク・デイズ期間外（2019/7/1～5、7/8～12）を比較した数値 ※月～金の平日1週間の平均から減少率を算出

■テレワーク・デイズ期間中（前半）に通勤者が減少した500mメッシュ地点 トップ10

単位:人

順位	勤務地	期間外	期間中	減少量	減少率
1	新宿西口方面	162,263	141,500	-20,763	-12.8%
2	大崎	79,481	64,597	-14,884	-18.7%
3	神田橋	114,125	100,599	-13,526	-11.9%
4	大手町	137,292	126,042	-11,250	-8.2%
5	小伝馬町	70,581	59,448	-11,134	-15.8%
6	三越前	91,330	80,425	-10,904	-11.9%
7	日本橋（八重洲方面）	137,744	127,406	-10,339	-7.5%
8	新橋～神谷町	62,626	52,745	-9,880	-15.8%
9	霞ヶ関	59,360	49,491	-9,869	-16.6%
10	三田	59,753	50,689	-9,064	-15.2%

東京23区の合計 減少量 1,315,876人 減少率 -9.0%

- ・通勤者：自宅から500m以上離れた勤務地(東京23区内)に訪れた20歳～64歳
- ・期間外：テレワーク・デイズ期間外(2019/7/1～7/5、7/8～7/12)の週間平均通勤者数
- ・期間中：テレワーク・デイズ期間中(2019/7/22～7/26、7/29～8/2)の週間平均通勤者数
- ・減少量：期間外から期間中への通勤者減少量
- ・減少率：期間外から期間中への通勤者減少率
- ・メッシュ単位：500mメッシュ



出典:KDDI×コロプラ「Location Trends」

テレワーク・デイズ2019 ④重点取組地区の状況

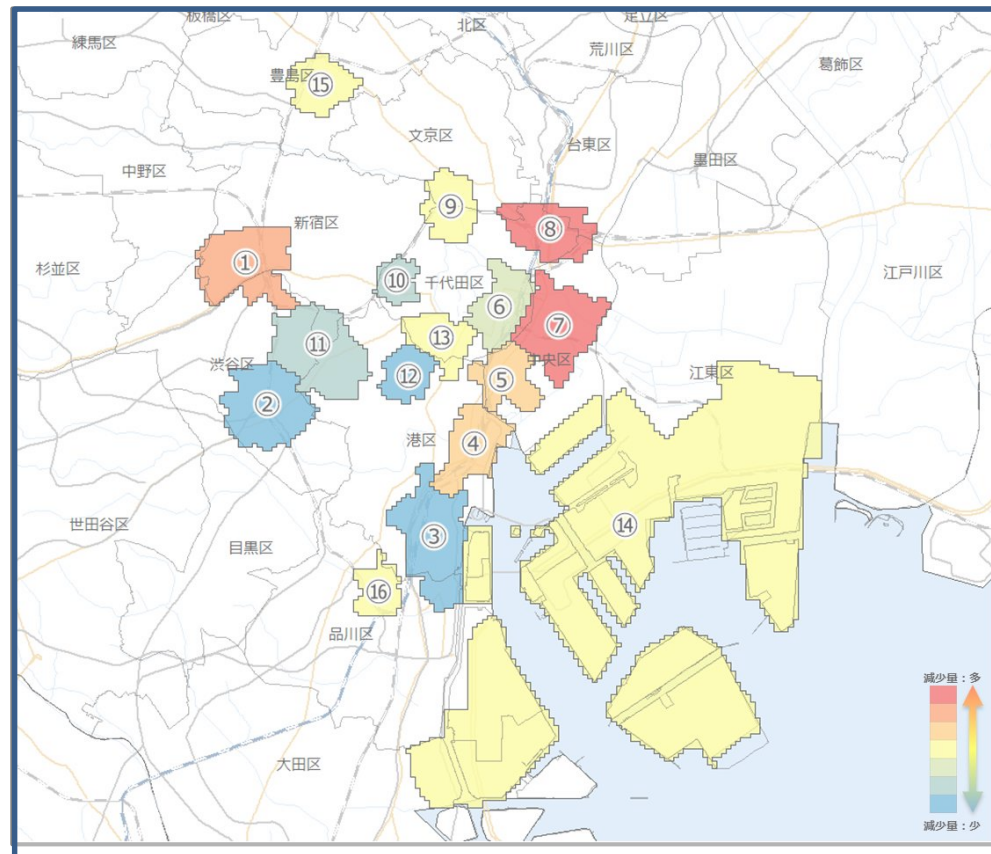
テレワーク・デイズ期間（前半）中の重点取組地区の通勤者の減少量と減少率

■通勤者減少量(重点取組地区)

単位:人

	勤務地	期間外	期間中	減少量	減少率
①	新宿	946,827	874,825	-72,003	-7.6%
②	渋谷	398,526	375,492	-23,034	-5.8%
③	品川	371,111	355,472	-15,639	-4.2%
④	浜松町・田町	490,041	446,124	-43,917	-9.0%
⑤	新橋・汐留	453,987	410,558	-43,429	-9.6%
⑥	大手町・丸の内・有楽町	587,477	545,676	-41,801	-7.1%
⑦	八重洲・日本橋	830,785	770,584	-60,200	-7.2%
⑧	神田・秋葉原・御茶ノ水	637,683	578,080	-59,603	-9.3%
⑨	九段下・飯田橋	407,006	369,806	-37,200	-9.1%
⑩	番町・麹町	260,253	239,850	-20,404	-7.8%
⑪	青山・表参道	202,432	181,685	-20,746	-10.2%
⑫	赤坂・六本木	197,386	181,725	-15,661	-7.9%
⑬	霞ヶ関・虎ノ門	494,614	454,872	-39,742	-8.0%
⑭	晴海・有明・台場・ 豊洲・大井ふ頭	772,077	728,168	-43,909	-5.7%
⑮	池袋	350,574	319,964	-30,610	-8.7%
⑯	大崎	335,435	299,314	-36,122	-10.8%

■通勤者減少量ヒートマップ(重点取組地区)



- ・通勤者: 自宅から500m以上離れた勤務地(東京23区内)に訪れた20歳~64歳
- ・期間外: テレワーク・デイズ期間外(2019/7/1~7/5、7/8~7/12)の週間平均通勤者数
- ・期間中: テレワーク・デイズ期間中(2019/7/22~7/26、7/29~8/2)の週間平均通勤者数
- ・減少量: 期間外から期間中への通勤者減少量
- ・減少率: 期間外から期間中への通勤者減少率
- ・メッシュ単位: 500mメッシュ

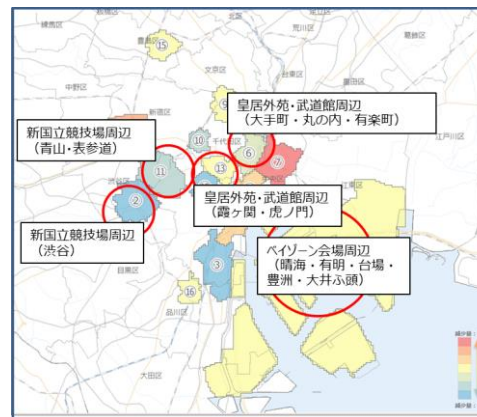
出典:KDDI×コロプラ「Location Trends」

テレワーク・デイズ2019 ⑤会場周辺エリアの状況

○新国立競技場周辺は減少量が多い傾向にあるが、ベイゾーン周辺は更なる取組拡大が必要

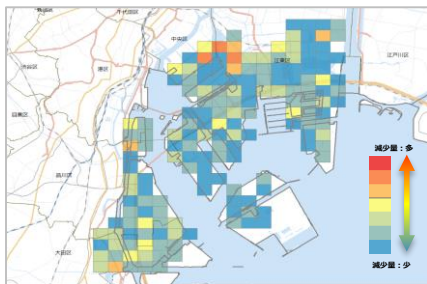
会場周辺の重点エリア				
エリア名	期間外	期間中	減少量	減少率
ベイゾーン会場周辺 (晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭)	772,007	728,168	-43,909	-5.7%
新国立競技場周辺 (青山・表参道)	202,432	181,685	-20,746	-10.2%
新国立競技場周辺 (渋谷)	398,526	375,492	-23,034	-5.8%
皇居外苑・武道館周辺 (霞ヶ関・虎ノ門)	494,614	454,872	-39,742	-8.0%
皇居外苑・武道館周辺 (大手町・丸の内・有楽町)	587,477	545,676	-41,801	-7.1%

■エリアの詳細



- ・重点エリア：東京都が選定したTDM重点取組地区
- ・通勤者：自宅から500m以上離れた勤務地(東京23区内)に訪れた20歳～64歳
- ・期間外：テレワーク・デイズ期間外(2019/7/1～7/5、7/8～7/12)の週間平均通勤者数
- ・期間中：テレワーク・デイズ期間中(2019/7/22～7/26、7/29～8/2)の週間平均通勤者数
- ・減少量：期間外から期間中への通勤者減少量
- ・メッシュ単位：500mメッシュ

晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭 (ベイゾーン会場周辺)



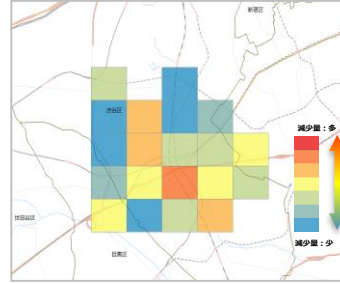
特に減少量の多いメッシュ
・豊洲駅周辺

青山・表参道 (新国立競技場周辺)



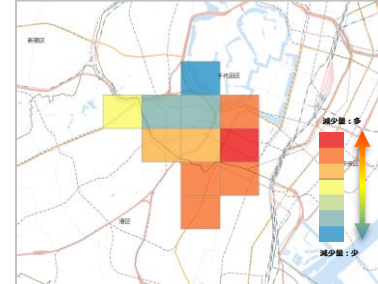
特に減少量の多いメッシュ
・外苑前駅

渋谷 (新国立競技場周辺)



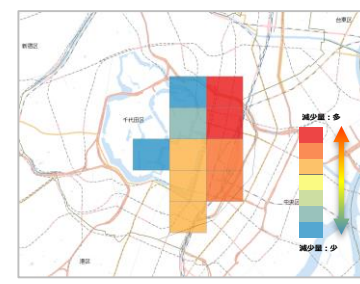
特に減少量の多いメッシュ
・渋谷駅南側

皇居外苑・武道館周辺 (霞ヶ関・虎ノ門)



特に減少量の多いメッシュ
・桜田門駅、霞ヶ関駅、
虎ノ門駅、神谷町駅

皇居外苑・武道館周辺 (大手町・丸の内・有楽町)



特に減少量の多いメッシュ
・大手町駅
・神田橋
・東京駅周辺

総務省における令和元年度テレワーク推進施策

テレワーク普及展開推進事業

テレワーク・デイズ2019

- 2020年東京大会 1年前の本番テストとして7月22日(月)～9月6日(金)の期間を「テレワーク・デイズ2019」として実施。webサイトの構築や事務局運営、広報活動、イベントの開催、効果検証等の取組を行う。



テレワーク専門家の派遣（テレワークマネージャー派遣事業）

- テレワーク導入を検討する企業等に、専門家を個別派遣し、テレワークシステム、情報セキュリティ等、主にICT面でテレワークの導入に関するアドバイスを実施（厚生労働省の労務管理コンサルタント派遣事業と連携）

セミナーの開催・展示会への出展

- 全国11カ所程度（各地域ブロック）で、テレワーク導入を検討する企業等向けセミナー等を開催。
- 東京、名古屋、大阪においては、多くの企業の参加を見込める既存の民間展示イベントも活用して周知の機会を増やす。

先進企業・団体の事例収集・表彰（テレワーク先駆者百選）

- テレワークを先進的に実施している企業・団体を「テレワーク先駆者」「テレワーク先駆者百選」として公表。特に優れた取組には総務大臣賞を授与し、厚生労働大臣賞（輝くテレワーク賞）と合同で表彰式を実施。



テレワーク環境整備（サテライトオフィス整備等）

地域IoT実装推進事業（要件B:テレワーク）

- 「地域IoT実装推進ロードマップ」における「分野別モデル」の普及展開を推進するため、分野別モデルの横展開に取り組む地域に対し、初期投資・連携体制の構築等にかかる経費を補助。（補助率：1/2 最大補助額：2,000万円）
- 平成31年(令和元年)度から、**新たに「働き方（テレワーク）」を対象に追加。**
（参考）平成28～30年度までは「ふるさとテレワーク推進事業」として実施。